

市民の負担が大きく軽減・今年度は新たな取り組みで利便性が向上

供用開始から 3 年「奈良市斎苑 旅立ちの杜」利用状況



昭和 30 年代から半世紀にわたり本市喫緊の課題であった新斎苑整備事業が完了し、令和 4 年 4 月に「奈良市斎苑 旅立ちの杜」として供用開始してから 3 年が経過。この間、16,000 人を超える方々の最期のお別れの間としてご利用いただきました。これまでの利用状況について報告します。

トピックス

- 市内利用者数（大人火葬）が従前の施設（令和 3 年度）と比べると約 2 倍に増加。市外利用者数は約 14 倍に増加。使用料収入は 6.4 倍に増加。
- 一方、奈良市民が市外施設を利用するケースは約 10 分の 1 となり、奈良市民の負担が軽減。市外施設利用による超過負担額は△1 億 3000 万円と大幅に減少見込み。
- 市民の経済的利益（歳入増＋市外施設利用料の減少）は、令和 6 年度で約 2 億 8000 万円、4～6 年度の 3 ヶ年合計で 7 億 9000 万円。
- 今年度の新たな取り組みとして、1 炉あたり 1 日 2 回の火葬炉運用を 3 回に拡大。令和 7 年 1 月には火葬炉稼働率が 94%と、冬季（11～3 月の稼働率 82%）の混雑に対応。火葬炉運用を増やし、安定的な供給を実現する。

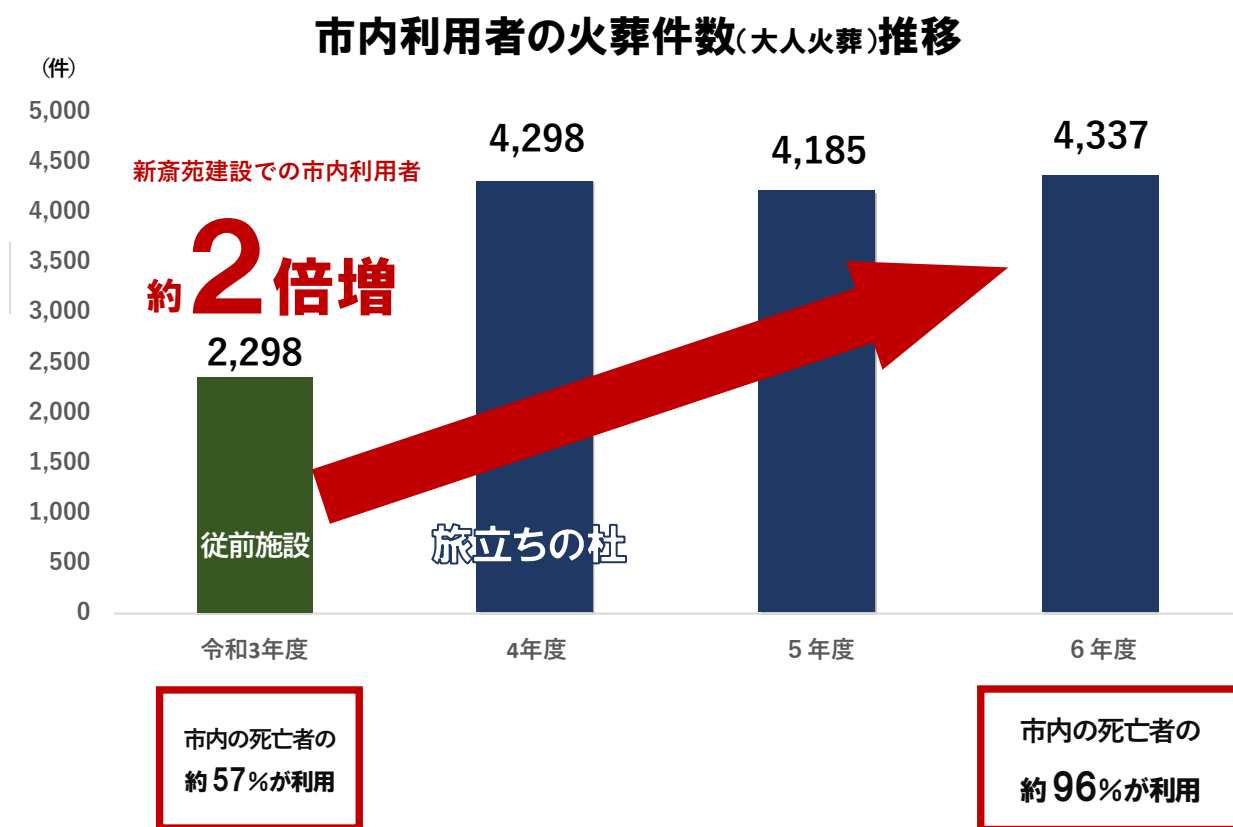
1. 利用状況について

1) 火葬件数（大人火葬）の推移

①市民の利用者数

人体火葬のほとんど（約98％）を占める大人火葬では、市内利用者数が令和3年度（従前施設）2,298件から、令和6年度4,337件と約2倍に増加。

また、奈良市民(*)でありながら市外施設を利用した方は、令和3年度には1,746件でしたが、令和6年度には168件と大幅減少。従前施設では一日最大8件だった火葬数が、新斎苑では22件まで対応可能とし、市内での火葬を希望するすべての奈良市民が、確実にご利用いただける環境が整いました。なお、令和6年度においては、市内の死亡者の約95%にあたる4,337人のご利用になり、ほとんどの市民の方にご利用いただきました。

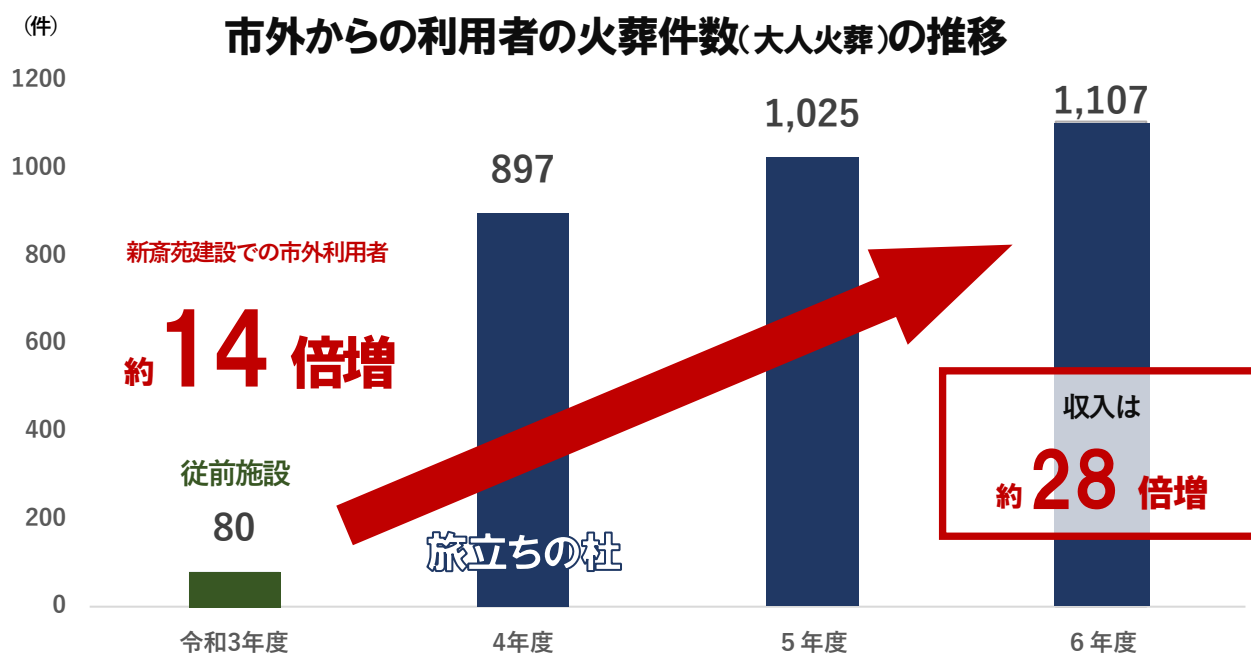


(*)奈良市に住民登録があり、死亡届が奈良市に提出された件数

(奈良市に住民登録があり、死亡届を奈良市外の自治体に提出された方等、実質的に市外在住していたと思われる方は除外しています。)

②市外からの利用者数

市外からの利用者数は、令和3年度（従前施設）80件から、令和6年度1,107件と約14倍に増加しました。また、市外からの利用者の使用料を5万円から10万円に変更したこともあり、市外利用者による使用料収入は、令和3年度432万円から、令和6年度1億2041万円と約28倍に増加しました。収支は大きく改善しています。



(参考) 利用者数の推移について

	年 度	市内利用者	市外利用者	合 計	市民のうち他市施設利用者
従前施設	令和3年度	2,298 件	80 件	2,378 件	1,746 件 (43.2%)
奈良市斎苑 旅立ちの杜	令和4年度	4,298 件	897 件	5,195 件	186 件 (4.1%)
	令和5年度	4,185 件	1,025 件	5,210 件	161 件 (3.7%)
	令和6年度	4,337 件	1,107 件	5,444 件	168 件 (3.7%)
令和6年度／令和3年度比較		1.9 倍	13.8 倍	2.3 倍	△1,578 件 (△39.5%) (年度比 0.1 倍)

(※) 利用率は、その年度に火葬した総数のうち市民が他市施設を利用した率を指します。

他市施設利用者数／（市内利用者数＋他市施設利用者数）×100

2) 火葬件数増加の要因について

ア) 市民の他市施設の利用が激減し、ほぼ全員の方に「旅立ちの杜」をご利用いただくようになりました。

イ) 市外利用者数が想定より大幅に増加しました。

当初は、市外利用者を利用者全体の 5% (200 件) と想定していましたが、

令和 6 年度実績では 20% (1,107 件) となっています。

ウ) 大人火葬の市外利用者の主な住所地

京都府木津川市 528 人 (市外利用者全体の 47.7%)

京都府精華町 191 人 (市外利用者全体の 17.3%)

京都府和束町 42 人 (市外利用者全体の 3.8%)

2. 「旅立ちの杜」の収支について

令和 4 年度以降、順調に増収となっており、令和 3 年度 (従前施設) と令和 6 年度 (新斎苑) の比較では、約 1 億 5000 万円の収入増となっています。一方で、支出は令和 4 年度では一時的に増加しましたが、令和 5 年度以降は着実に減少しています。

	令和 3 年度 (従前施設)	令和 4 年度 (旅立ちの杜)	令和 5 年度	令和 6 年度
収 入	27,839,000 円	149,744,000 円	164,050,500 円	177,394,750 円
支 出	99,132,473 円	223,239,095 円	219,965,401 円	225,279,167 円
収 支①	△71,293,473 円	△73,495,095 円	△55,914,901 円	△47,884,417 円
人体火葬件数②	2,437 件	5,270 件	5,281 件	5,549 件

市外施設利用による超過負担額の比較（推計）

令和4年度以降、市民の市外施設利用者は大幅に減少し、市民の負担が大きく減少しています。

年 度	超過負担額（概算）
令和3年度① （従前施設）	市外施設利用 1,746 件/（市内利用者+市民の市外施設利用者）4,124 件=42.4%が市外施設を利用 1 億 4049 万 7100 円 [市外施設利用 1,746 件の超過負担額合計（概算） @80,500 円]
令和4年度②	市外施設利用 186 件/（市内施設利用+市民の市外施設利用）4,484 件=4.1%が市外施設を利用 186 件×80,500 円=1497 万 3000 円
令和5年度③	市外施設利用 161 件/（市内施設利用+市民の市外施設利用）4,346 件=3.7%が市外施設を利用 161 件×80,500 円=1296 万 500 円
令和6年度④	市外施設利用 168 件/（市内施設利用+市民の市外施設利用）4,505 件=3.7%が市外施設を利用 168 件×80,500 円=1352 万 4000 円
令和3年度・令和6年度の比較	（④－①）1 億 2697 万 3100 円増加
令和4～6年度 合計	4 年度（②－①） 1 億 2552 万 4100 円 5 年度（③－①） 1 億 2753 万 6500 円 <u>合計 3 億 8003 万 3700 円</u> 6 年度（④－①） 1 億 2697 万 3100 円

これらの結果から、市民の経済的利益（使用料収入の増加＋市外施設利用による超過負担額の減少）を、以下のように試算しています。

令和6年度単年度で 2 億 7,652 万 8,850 円

内訳：使用料収入の増加[1 億 4955 万 5750 円]＋ 超過負担額の減少額[1 億 2697 万 3100 円]

令和4～6年度の3ヵ年で 7 億 8,770 万 5,850 円

内訳：使用料収入の増加[4 億 767 万 2150 円]＋ 超過負担額の減少額[3 億 8003 万 3800 円]

3. 火葬枠の拡大による混雑緩和・利用拡大

火葬件数は着実に増加しており、令和 6 年度の火葬炉稼働率は 69%。稼働率は年間を通して一定でなく、4～10 月（通常期、214 日間）は 62%とそれほど高くない一方で、11～3 月（冬季、148 日間）は平均 82%と高く、1 日の火葬上限の 22 件に達する日もありました。

令和 7 年度では、こうした冬季の火葬集中を緩和する方策として、火葬枠の拡大（1 炉あたり 1 日 2 回運用から 3 回運用へ）を検討します。これにより、冬季の混雑緩和に加え、市外在住者の利用拡大による使用料収入の増加にもつながると考えます。

362 日の可動日全て 3 回運用に変更するのではなく、週 3 回の実施など、効率的な運用を行います。

令和 6 年度の稼働日数・人体火葬件数・稼働率

	稼働 日数	人 体 火葬件数	月平均	炉稼働率
令和 6 年 4 月	30	406	13.53	62%
令和 6 年 5 月	31	433	13.97	63%
令和 6 年 6 月	30	379	12.63	57%
令和 6 年 7 月	31	441	14.23	65%
令和 6 年 8 月	31	437	14.10	64%
令和 6 年 9 月	30	416	13.87	63%
令和 6 年 10 月	31	386	12.45	57%
令和 6 年 11 月	30	453	15.10	69%
令和 6 年 12 月	31	527	17.00	77%
令和 7 年 1 月	28	579	20.68	94%
令和 7 年 2 月	28	541	19.32	88%
令和 7 年 3 月	31	551	17.77	81%
合 計	362	5,549	15.33	69%

冬季は
平均 82%の稼働率

4. 「火葬場」のイメージを変える、心に寄り添う場所へ

奈良市斎苑「旅立ちの杜」は、誰もが利用する火葬場が「暗い」「こわい」といった負のイメージの施設ではなく、「明るく」「安心できる」施設であるべきであるとの思いから、「周辺の環境と一体化した『森の中の美術館』」をコンセプトとして整備を進めてきました。待合室を一面のガラス張りとして、そこから高円山や遠くに奈良市街が見える眺望は他の施設にはない、明るく開放的な空間を実現しています。

また、2つある施設エントランスには、フランス・ベルサイユ市在住の画家・大石良太氏から寄贈された絵画、「奈良風景『古都遠望』」、「ベルサイユ春夏秋冬」を展示し、参列された皆様をアートの温もりに包まれた空間でお迎えしています。

また、より多くの方々に「旅立ちの杜」を知っていただくため、施設見学会やクラシックコンサートも開催。演奏には「100万人のクラシックライブ」から、プロのピアノ・ヴァイオリン奏者をお迎えし、音楽とともに心癒されるひとときを提供しています。



大石良太氏より寄贈を受けた絵画の除幕式



施設見学会&クラシックコンサートを開催
(100万人のクラシックライブ)

これまでに4回開催し、300名以上が参加。
音楽とともに心癒される企画を実施。



青垣エリアに飾られた絵画「ベルサイユ春夏秋冬」



過去のクラシックコンサートと
見学会の動画はこちら▶



大和エリアに飾られた絵画「奈良風景『古都遠望』」

(参考) 使用料収入の推移

年度	市内利用者	市外利用者	合 計
令和 3 年度 (従前施設)	(大人) 2,298 件・22,945,000 円 (待合室) なし (他収入) 567,500 円 (小計) 23,512,500 円①	(大人) 80 件×5 万円=400 万円 (待合室) なし (他収入) 326,500 円 (小計) 4,326,500 円⑤	(大人) 26,945,000 円 (待合室) なし (他収入) 894,000 円 (合計) 27,839,000 円
令和 4 年度	(大人) 4,298 件×1 万円=4,298 万円 (待合室) 2,504 件・8,724,000 円 (他収入) 2,554,000 円 (小計) 54,258,000 円②	(大人) 897 件×10 万円=8,970 万円 (待合室) 549 件・5,391,000 円 (他収入) 395,000 円 (小計) 95,486,000 円⑥	(大人) 1 億 3,268 万円 (待合室) 14,115,000 円 (他収入) 2,949,000 円 (合計) 1 億 4974 万 4000 円
令和 5 年度	(大人) 4,185 件×1 万円=4,185 万円 (待合室) 2,690 件・9,216,000 円 (他収入) 2,853,500 円 (小計) 53,919,500 円③	(大人) 1,025 件×10 万円=1 億 0250 万円 (待合室) 722 件・7,110,000 円 (他収入) 521,000 円 (小計) 110,131,000 円⑦	(大人) 1 億 4,435 万円 (待合室) 16,326,000 円 (他収入) 3,374,500 円 (合計) 1 億 6405 万 0500 円
令和 6 年度	(大人) 4,337 件×1 万円=4,337 万円 (待合室) 2,993 件・10,299,000 円 (他収入) 3,306,750 円 (小計) 56,975,750 円④	(大人火葬) 1,107 件×10 万円=1 億 1,070 万円 (待合室) 870 件・8,883,000 円 (他収入) 836,000 円 (小計) 120,419,000 円⑧	(大人) 1 億 5,407 万円 (待合室) 19,182,000 円 (他収入) 4,142,750 円 (合計) 1 億 7739 万 4750 円
令和 3 年度・ 令和 6 年度 比較	④－① 3346 万 3250 円	⑧－⑤ 1 億 1609 万 2500 円	+1 億 4955 万 5750 円㉗
令和 4～6 年度 合計	令和 4 年度 ②－① 30,745,500 円 令和 5 年度 ③－① 30,407,000 円 令和 6 年度 ④－① 33,463,250 円 令和 4～6 年度合計 94,615,750 円	令和 4 年度 ⑥－⑤ 91,159,500 円 令和 5 年度 ⑦－⑤ 105,804,500 円 令和 6 年度 ⑧－⑤ 116,092,500 円 令和 4～6 年度合計 313,056,500 円	令和 4 年度 121,905,000 円 令和 5 年度 136,211,500 円 令和 6 年度 149,555,750 円 合計 407,672,250 円